

中学書写 1・2・3年

別冊

書写ブック

ここから
取り外して
使いましょう。



3年間の目標

3年間の学習を振り返って

光村図書

楷書かいしよで名前を書こう

一年	組
----	---

行書かいしよで名前を書こう

二年	組
----	---

楷書か行書で名前を書こう

三年	組
----	---

走	天	入	⑦ 右払い ノ

己	光	七	⑧ 曲がり し

子	気	代	⑨ 反り ノ

三	二	一	① 横画 一

土	下	小	② 縦画 川

画	古	日	③ 折れ ㄱ

京	学	犬	④ 点 、

地	虫	耳	⑤ 右上払い ノ

矢	木	人	⑥ 左払い ノ

漢字の筆使い

文字の整え方の
原理・原則を学ぼう。

毛筆での学びを
硬筆に生かそう。



教科書 (本編)

書写ブック

書写学習の目的は、文字の整え方を学び、日常に生かすことです。毛筆で学んだことを硬筆に生かし、繰り返し学ぶことで「書く力」を身につけましょう。

「書写ブックを活用しよう」



「速く書くとき」

- 画が接するところが、離れる。
- 筆順や形が変わる。

縦画の終筆が「はね」になる。

紙 → 紙

木 → 木

速く書く場合には、このような書き方をしてもいいんだね。



「学習の流れ」

原理・原則を確認しよう。

学習したことを生かして語句を書こう。

振り返ろう。

文字を書いて定着させよう。



「目次」

1年生 「楷書」

漢字の筆使い……………3

筆順／外形と中心……………4

点画の組み立て方……………6

部分の組み立て方……………7

言葉を書こう1……………8

1年生 「行書」

点画の変化……………10

点画の連続……………12

2年生 「行書」

点画の省略……………14

筆順の変化……………16

言葉を書こう2……………18

3年生

書写テストに挑戦しよう……………20

言葉を書こう3……………22

2～3年生

都道府県名を練習しよう……………24

年賀状を書こう……………26

筆順

中心

文字の中心を意識して書くと、字形が整う。

合 本
四 文

合	本
四	文
天	出
空	口



外形

西 目 雨

二	西	系	目	海	雨
六	工	用	多	顔	絵

外形

手 下 上

十	手	市	下	人	上
今	小	右	言	先	生

外形と中心

なまじり書

突き抜ける画は最後

外側から内側へ

左から右へ

上から下へ

車 中 円 月 林 川 立 三

車	中	円	月	林	川	立	三
母	子	国	回	休	人	今	青
冊	書	風	雨	湖	町	空	早

なまじり書

間違えやすい筆順

卵 飛 乗 専 将 臣 収 発 必 情 区 進

まちが

振り返ろう
文字の外形や中心に気をつけて書いた。

振り返ろう
筆順に気をつけて書いた。

点画の組み立て方

点画の方向

同じ点画でも、文字によって方向や角度が異なる。

子 田 国

画の長さ

「横画」が幾つか並ぶときは、一画だけ長く書く。

重 書

点や画の間

点や画の間は、同じくらい空ける。

青 魚

画の接し方

筆順によって、画の接し方が異なる。

皮 原

千 国

重 書

青 魚

皮 原

人 田

言 王

耳 黒

感 芽

月 子

年 音

信 蒸

馬 板

足 八

童 寺

冊 州

印 府

送 体

善 長

米 形

服 成

部分の組み立て方

左右

文字によって、左右の部分の幅や位置の関係が異なる。

印 横

上下

文字によって、上下の部分の高さや位置の関係が異なる。

雪 筋

都 横

雪 筋

創 畑

寄 然

樹 拝

葉 答

湖 昨

算 思

例 印

窓 皇

内外

「によう」の「右払い」が中の部分より右に出るように書く。

中の部分を小さめに書き、「かまえ」の中にゆったりと収める。

中の部分を、文字の中心より少し右に寄せる。

道 間 店

延 国 厚

延 道 厚 店

起 題 居 庫

国 間

区 風

振り返ろう
点画の組み立て方を意識して書いた。

振り返ろう
部分の組み立て方を意識して書いた。

言葉を書こう①

「竹取物語」

ふと天の羽衣うち着
 せたてまつりつれば、
 翁を、いとほし、かなしと
 思しつることも失せぬ。
 この衣着つる人は、物
 思ひなくなり、にければ、
 車に乗りて、百人ばかり
 天人具して、のぼりぬ。

防災かるた

ホイツスル
 助けを呼ぶため
 持ち歩こう
 寄り添って
 不安を減らす
 声かけを

（「ひょうご」『学ぼう災』かるたより）



心情を表す言葉

悲しい
悲痛

うなだれる

楽しい
興じる

胸が躍る

うれしい
喜ぶ

はしゃぐ

怒る
頭にくる

未	天	大
来	文	小

東	少	木
西	年	立

点画の変化を理解して、行書で書いて。

左払い・曲がり	点
西 ← 西	立 ← 立

ハリ ニ

四	西	六	立

勢	陸	市	火

大	四	成	永
陸	方		

		送	灯

左払い	横画	縦画	右払い
ハ ← ハ	天 ← 天	木 ← 木	大 ← 大

ノ ノ 二 一 一 一

入	ハ	七	天	未	木	人	大

九	父	干	犬	共	来	文	本

刈	女	夫	未	状	刊	介	水

努	央	存	求	述	四	米	分

列が介する

1年生

2年生

3年生

点画の変化

部分をかきまわす

なぞろう

書いて

文字のなぞとき



次の漢字の画数は、○画だ。

(オウ)

(トツ)

(凹 凹 凹 凹 凹) 画

(凸 凸 凸 凸 凸) 画

えん

振り返ろう

点画の変化を理解して、行書で書いた。



点画の連続

部分をつなぐ

なぞろう

書いて

折れから

口 ← 口

(点画が直接つながる)

縦画から

王 ← 王

(筆脈が実線になる)

左払いから

名 ← 名 竹 ← 竹

(点画が直接つながる)

点から

客 ← 客 学 ← 学

(点画が直接つながる)

横画から

光 ← 光 日 ← 日

(点画が直接つながる)

ㄣ
ㄣ

虫虫

クク

ㄥ
ㄥ

ㄣ
ㄣ

ㄣ
ㄣ

丿丿

ㄣ
ㄣ

中	口	主	王	外	名	牛	竹

己	右	町	生	冬	麦	知	先

史	豆	球	里	各	色	牧	告

局	所	皇	星	祭	夏	族	物

字	客	単	学	元	光	三	日

売	写	康	寛	原	表	羊	手

管	受	兆	愛	岸	見	月	青

運	賞	均	翌	府	岩	非	朝



点画の省略

部分をかきおろす

点画の省略を理解して、部分別に行書で書こう。

なぞろう

書こう

のぎへん	
行書	楷書
禾	禾



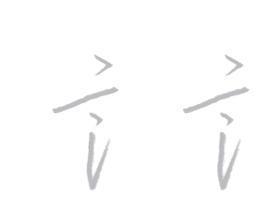
あめかんむり	
雨	雨



きへん	
才	才



ごんべん	
言	言



れっか/れんが	
レ	レ



もん/もんがまえ	
門	門



和	私

秋	科

移	秒

秘	積

雪	雲

電	雷

需	雷
要	雲

校	村

材	松

枚	板

桜	格

記	語

評	詩

誌	計

誠	設

然	点

熱	照

熟	熱
語	帯

間	間

閑	閑

林	閑
間	閑

四字熟語を完成させよう。

①のんびりと自由な暮らしを楽しむこと。

②非常に短い時間。素早い行動のたとえ。

晴	
雨	

	光
石	火

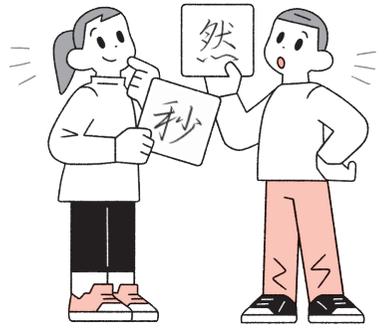
③話や考えの筋道が整っている様子。

理	路	整	
---	---	---	--

④世の中が開けること。

文	明		
化			

然	耕	読
秒	閑	電



雷い
需い
要

(右手で書く人)

ちはやぶる神代も聞かず竜田川
 から紅くれなゐに水くくるとは

(在原業平の和歌より)

秋風あきかぜにたなびく雲の絶え間より
 漏れ出もづる月の影かげのさやけさ

(藤原頼輔の和歌より)

1年生

2年生

3年生

筆順の変化

部分をかきうつ

筆順の変化を理解して、部分別に行書で書こう。

次の和歌を行書で書こう。

しめすへん/ころもへん 	みみへん 	くさかんむり 	いとへん
-----------------	----------	------------	----------

しめすへん ころもへん みみへん ぐさかんむり いとへん

初	礼	聞	取	草	花	紀	紅

復	社	聴	聖	茶	菩	約	結

補	祝	就	取	英	若	続	絵

被	神			菜	芽	紙	級

被の聴

文字のなぞとき



生 + 工 + 穴 + 日

② 次の式でできる二字熟語を行書で答えよ。

完



果

成

① それぞれの漢字と組み合わせると二字熟語になる漢字を行書で答えよ。

② ① ③

振り返ろう

筆順の変化を理解して、行書で書いた。



(左手で書く人)

から紅くれなゐに水みづくくるとは

(在原業平の和歌より)

ちはやぶる神代かみやよも聞きかず竜田川たつた

漏れ出もづる月いの影かげのさやけさ、
秋風あきかぜにたなびく雲くもの絶たぎえ間まより

(藤原顕輔の和歌より)

次の和歌を行書で書こう。

しめすへん/ころもへん 	みみへん 	くさかんむり 	いとへん
-----------------	----------	------------	----------

牙 牙 耳 耳 艹 艹 纟 纟

初	礼	聞	取	草	花	紀	紅
復	社	聴	聖	茶	菩	約	結
補	祝	就	取	英	若	続	絵
被	神	職	捨	菜	芽	紙	級

筆順の変化

筆順の変化を理解して、部分別に行書で書こう。

1年生
2年生
3年生

文字のなぞとき



① それぞれの漢字と組み合わせると二字熟語になる漢字を行書で答えよ。

完 → → 成

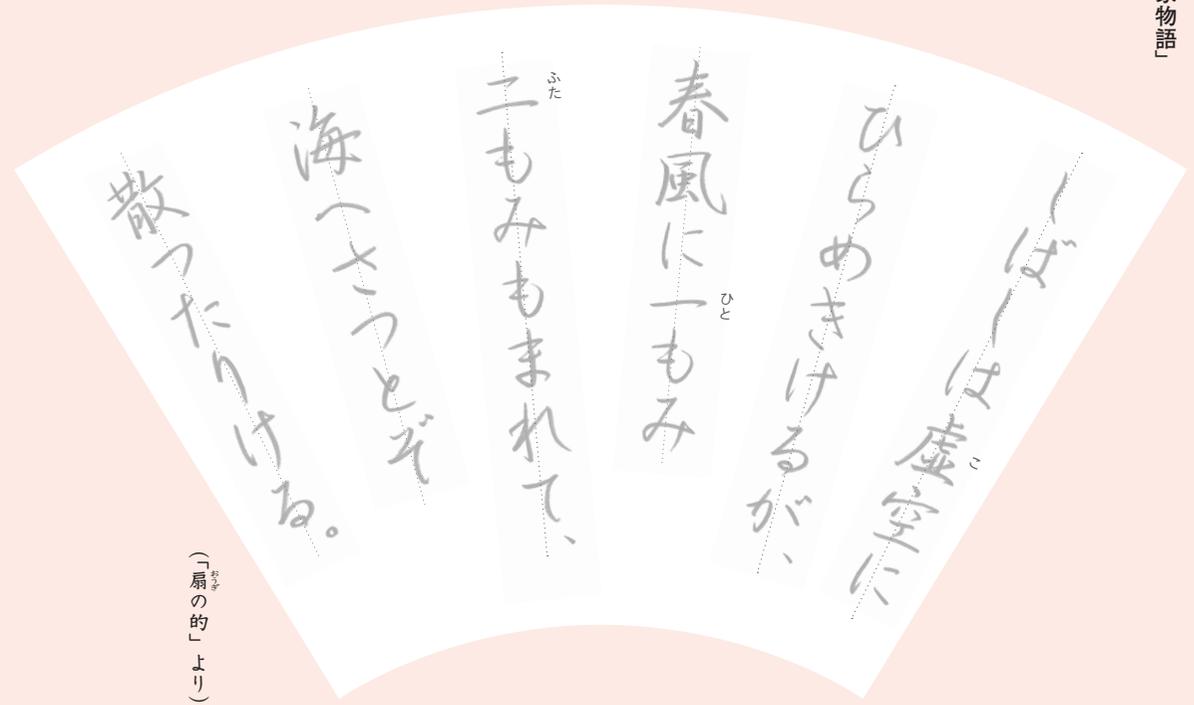
② 次の式でできる二字熟語を行書で答えよ。

生 + 工 + 穴 + 日

被 神 職 捨 菜 芽 紙 級

言葉を書こう②

「平家物語」



「走れメロス」

メロスは激怒した。
必ず、かの邪知暴虐
の王を除かなければ
ならぬと決意した。

(太宰治・作)

国語

人物を表す言葉

明るい

陽気

ユーモラス

丁寧・謙虚

奥ゆかしい

腰が低い

優しい

情に厚い

温和

強い

したたか

気丈

国語

学校生活

学習や日常に生かす

目的

描写

視点

理科

現象

分解

還元

数学

証明

確率

関数

社会

制度

権利

義務

書写テストに挑戦しよう

名前

① 次の三つの漢字に共通している行書の「点画の変化」は何か、ア〜ウの中から選んで記号で答えよう。



ア「点」の「方向」を変化させている。
イ「右払い」の終筆を「止め」に変化させている。
ウ「縦画」の終筆を「はね」に変化させている。

② 次の□は「石」を楷書で書いている。○で囲んだ部分を「点画の連続」に注意して、行書で書こう。



③ 「杉」という字の「へん」の部分で、「点画の省略」に注意して、行書で書こう。

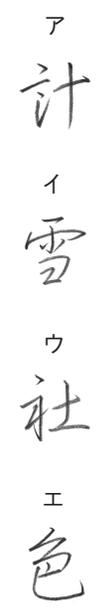


④ 次の漢字の「へん」と組み合わせるとき、正しい漢字になるものを選び、できた漢字を楷書で書こう。

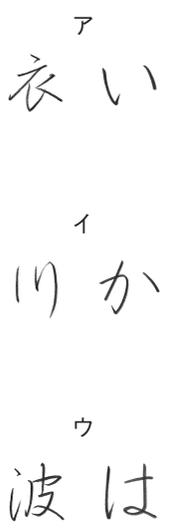


交 火 主 兄

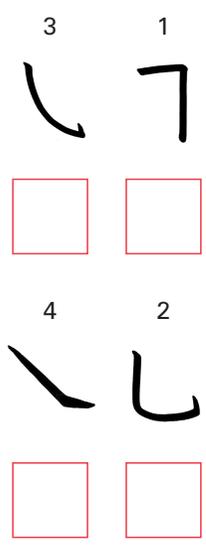
⑤ 行書で書かれた次の漢字を楷書で書いた場合、「光」と総画数が同じになるものを選んで、記号で答えよう。



⑥ 平仮名と、その元になった漢字の正しい組み合わせを、記号で答えよう。

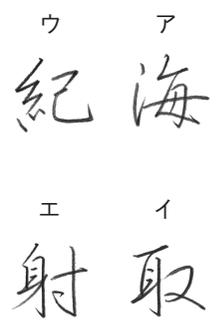


⑦ 次の点画の名称をア〜オの中から選んで、記号で答えよう。

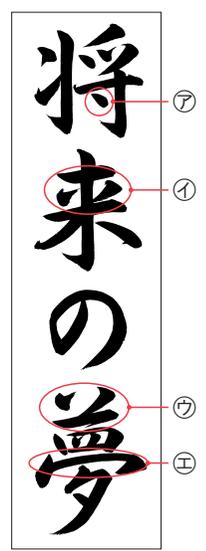


ア 右払い
イ 折れ
ウ 反り
エ はね
オ 曲がり

⑧ 行書で書かれた次の漢字の中から、楷書と異なる筆順で書かれたものを二つ選んで、記号で答えよう。



⑨ 行書で書かれた次の例の説明として最も適切なものを、1〜4の中から一つ選んで、数字で答えよう。



- ①は、点画を連続して書いている。
- ②は、点画を省略して書いている。
- ③は、筆順の変化に気をつけて書いている。
- ④は、点画を直線的に書いている。

⑩ 次の漢字の「ア」と「イ」は何画目に書くかを答えよう。



ア 画目
イ 画目

⑪ 次の例について、どこをどのように整えれば読みやすくなるだろうか。ア〜エから二つ選び、記号で答えよう。



ア 行の中心をそろえる。
イ 書体を統一する。
ウ 漢字は大きく、仮名は小さめに書く。
エ 用紙の上下左右に余白を取る。

解答

① イ
② 石
③ 杉
④ イ・ウ
⑤ 3
⑥ 祝
⑦ エ
⑧ ウ
⑨ 1 (イ) 2 (オ)
⑩ ア四画目 イ六画目
⑪ ア・ウ

言葉を書こう③

「万葉集」

君待つと我が恋ひ居れば我が屋戸の
すだれ動かし秋の風吹く

「古今和歌集」

(額田王の和歌より)

人はいさ心も知らずふるさと
花ぞ昔の香ににほひける

「新古今和歌集」

(紀貫之の和歌より)

玉の緒よ絶えなば絶えねながらへば
忍ぶることの弱りもぞする

(式子内親王の和歌より)

「おへのはろ道」

月日は百代の過客
にして、行きかふ年
もまた旅人なり。舟の
上に生涯を浮かべ、
馬の口とらへて老いを
迎ふる者は、日々旅に
して旅をすみかとする。

(松尾芭蕉・作)

国語

ことわざ・慣用句

生物に関する言葉

馬が合う

根も葉もない

猫に小判

生活・文化に関する言葉

板につく

鉄は熱いうちに打て

一目置く

振り返ろう
これまでに学習したことを
生かして、言葉を書いた。



都道府県名を練習しよう

香川	徳島	山口	広島	岡山	島根	鳥取	和歌山	奈良	兵庫

栃木	茨城	福島	山形	秋田	宮城	岩手	青森	北海道

沖縄	鹿児島	宮崎	大分	熊本	長崎	佐賀	福岡	高知	愛媛

福井	石川	富山	新潟	神奈川	東京	千葉	埼玉	群馬

なぞろう
広島県西部は、かつて安芸国とよばれた。

書こう

兵庫県の姫路城は、世界遺産として有名。

あまきのくに 安芸国
ひめじ 姫路

大阪	京都	滋賀	三重	愛知	静岡	岐阜	長野	山梨



HAPPY NEW YEAR

お世話になりました

新年 初春 迎春 賀正

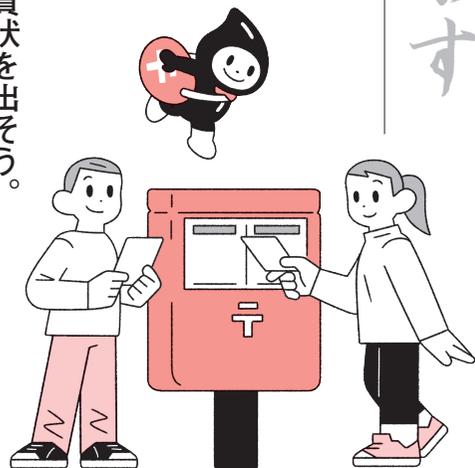
郵便はがき

Postal code boxes for the envelope

年賀

Red dashed line for writing practice

友達やお世話になっている人に年賀状を出そう。



明けましておめでとーございませす
今年もよろしくお願ひします
よい年になりますように

文字の大きさ
大 相手の名前
相手の住所
自分の名前
自分の住所



年賀

郵便はがき

Postal code boxes: 2250011

横浜市青葉区あざみ野五一九
ガーデン横浜三〇一号
谷川海都様

相模原市中央区小山二四番地

上原由果利

Postal code boxes: 2520205

横浜 相模原

岸孝太郎

一文字十三文字

小野寺水希

三文字十二文字

村上まどか

二文字十三文字

青木陸

二文字十一文字

西川友実

二文字十二文字

字間に気をつけて、なぞろう。

振り返ろう

これまでに学習したことを生かして、年賀状を書いた。



1年生

2年生

3年生

年賀状を書こう